

登録コード	HM110300	開講年度	2026			
授業題目	内科学特論				担当教員	花岡 正幸 他
英文授業名	Internal Medicine				副担当	牛木 淳人・北口 良晃・和田 洋典・曾根原 圭・小松 雅宙
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
講義室			授業形態	講義	備考	
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素				(授業の達成目標)	
	2026HM医学分野加, 2025HM医学分野加, 2024HM医学分野加, 2023HM医学分野加					
	【専攻】医学または保健学の研究に対する世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能				呼吸器・感染症・アレルギー内科学に関する疾患の発症機序および病態生理の理解ができるようになる。	
(2)詳細/Detailed information	呼吸器・感染症・アレルギー内科学の研究を遂行するためには、疾患の発症機序および病態生理の理解が不可欠である。本講義では対象疾患を系統的に学び、他疾患との相違を理解し、研究への応用・発展を目指す。					
(3)授業の概要/Overview of course	呼吸器病学、感染症学（特に呼吸器感染症学）、アレルギー内科学の各分野について一般的疾患を重点的に講義するとともに、他の分野との接点、統合につき学習する。					
(4)授業計画/Course plan	【オムニバス方式】 （花岡正幸 教授/3回）閉塞性肺疾患、肺循環障害、睡眠呼吸障害に関し、症候、所見および診断を系統的に学び、理解を深める。さらに、他疾患との相関を探り、病態解明の手掛かりとなるエビデンスを収集し、実際に活用する道筋を習得する。 （牛木淳人 准教授/3回）各種細菌感染症、結核などの抗酸菌感染症、HIV感染症、日和見感染症などに関し、症候、検査所見および診断を系統的に学び、理解を深める。さらに、感染制御に必要な基礎的知識を習得させる。 （北口良晃 准教授/3回）喘息・COPD等の閉塞性肺疾患およびその類縁疾患（喘息・COPDオーバーラップ、気腫合併肺線維症）における症候、検査所見から診断を導き出す過程を理解させ、実際に活用する道筋を習得させる。 （和田洋典 講師/3回）肺疾患に伴う肺高血圧症の症候や検査所見の特徴、確定診断および治療につながる診断法を系統的に学ばせる。臨床の治療に結びつくエビデンスの収集とその道筋を習得させる。 （曾根原圭 講師/3回）胸部の悪性腫瘍（縦隔腫瘍、胸膜中皮腫など）の特異性、症候や検査所見の特徴、診断を系統的に学ばせる。さらに、臨床研究に必要なエビデンスの収集と実際に活用する道筋を習得させる。 （小松雅宙 助教/3回）種々の間質性肺疾患、特に特発性間質性肺炎、膠原病関連間質性肺炎、サルコイドーシス、IgG4関連呼吸器疾患などに関し、症候、所見および診断を系統的に学び、理解を深める。さらに、他疾患との異同を探り、病態解明の手掛かりとなるエビデンスを収集し、実際に活用する道筋を習得する。					
(5)成績評価の方法・基準/Grading/evaluation method/evaluation criteria	すべての講義終了後には、授業内容に関連したレポートを課す。(i) 問題の設定が適切であり、(ii) その問題の背景を説明できており、(iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており、(iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており、(v) その上で自分の見解を提示できており、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している（秀）」。(i) から (v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある（優）」。4項目までできていれば「やや上にある（良）」。3項目までできていれば「水準にある(可)」。					
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	本講義は呼吸器・感染症・アレルギー内科学における系統的な知識を満遍なく学ぶよう計画されており、授業内容にも関連性がある。毎回の授業の最後に、次の回につながる課題を出す。その課題はそれまでの授業内容を使えば答えを出せるようになっている。必ず答えを作成して提出すること。それは授業後に回収する。					
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	講義中あるいは講義終了直後の質問は随時受け付ける。それ以外の場合は、各教員と直接連絡を取り、質問・相談時間を設定すること。					
(8)授業の形式/Course format	スライドや配布資料を用いる。授業内容に関連性があるので、講義終了後は知識の習得のため、十分に復習すること。					